

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神障害リハビリテーション論		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 3学年1学期		必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 ・精神障害リハビリテーションの概念・理念・基本原則、プログラムを理解できるようになる。 ・精神障害リハビリテーションの実施機関とプログラムの関係について理解できるようになる。 ・精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割を理解し、援助場面で活用できるようになる。 ・精神障害リハビリテーションの基本原則と展開、プログラムを理解し、援助場面で適用できるようになる。					
【授業計画】 1 精神障害リハビリテーションの理念と定義 2 精神障害リハビリテーションと医学的・職業的・社会的・教育的リハビリテーションの関係 3 精神障害リハビリテーションの基本原則 4 精神障害リハビリテーションにおけるソーシャルワークの位置づけ 5 地域を基盤した精神障害リハビリテーションの意義:リカバリー・ストレングス 6 精神障害リハビリテーション構成と展開:対象 7 精神障害リハビリテーション構成と展開:多職種連携・チームアプローチ 8 精神障害リハビリテーション構成と展開:リハビリテーションのプロセス 9 精神障害リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割・機能 10 精神障害リハビリテーションの実施機関とプログラム内容:医療機関領域 11 精神障害リハビリテーションの実施機関とプログラム内容:就労支援領域 12 精神障害リハビリテーションの実施機関とプログラム内容:地域生活支援、司法領域 13 精神障害リハビリテーションの実施機関とプログラム内容:教育領域 14 当事者主体のリハビリテーション:ピアサポート、ピアスタッフ、家族支援 15 近年の精神障害リハビリテーションの動向:依存症(薬物、ギャンブルなど)					
【使用テキスト・参考文献】 別途指定			【単位認定の方法及び基準】 講義時の指定の課題・提出物(30%)、期末試験(70%)を総合し、評価を行う。		